

新婚夫婦の家事分担比率は？ 新婚時点で家事の5割以上負担する夫は7人に1人とどまる 「新生活準備調査 2015」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する調査・研究組織のブライダル総研より、「新生活準備調査2015」に関する分析をお伝えします。

◆新婚時点で家事の5割以上負担する夫は7人に1人とどまる

新婚夫婦の家事分担はどのようになっているのでしょうか。『新生活準備調査2015』にて、2014年4月～2015年3月に結婚した新婚カップルに、「家事分担の割合」について調査しました。

【夫婦の家事分担比率（単一回答）】

夫の分担が5割未満：84.6%（2014年：88.3% 3.6pt減）
夫の分担が5割以上：14.0%（2014年：10.6% 3.3pt増）
無回答：1.4%

新婚カップルの家事分担比率をみると、約7人に1人は家事の5割以上を夫が担当し、2014年から比較すると、5割以上の家事を夫が分担する割合が3.3ポイント増加していることがわかりました。

新婚時点で5割以上の家事をする夫は微増しているものの、依然として妻の家事分担比率が高く、夫の家事参加はまだまだ浸透してないようです。

◆親と別居している夫ほど、家事分担比率が高まる

さらに、夫婦の家事分担の割合と結婚前の親との同居状況の関係を調査しました。

【夫の家事分担比率が5割以上である割合（一緒に住む前の親との同居状況別／単一回答）】

- ・夫は親と同居していた：10.5%
- ・夫は親と別居していた：16.1%

【一緒に住む前の親との同居状況（単一回答）】

- ・夫は親と同居していた：40.0%（2009年：46.6% 6.6pt減）
- ・夫は親と別居していた：59.3%（2009年：53.4% 5.9pt増）
- ・無回答：0.7%

夫の家事分担比率が5割以上である割合を、一緒に住む前の親との同居状況別にみると、夫が親と別居している人は同居していた人よりも、5割以上の家事を分担している割合が高いことがわかりました。

親元を離れて、身の回りのことを自分でする経験を持つ夫は、結婚後も積極的に家事を行っているようです。

また、親と別居している割合は2009年から比較すると増加しており、今後も「5割以上家事を分担する夫」が増加する可能性があると言えます。

◆出版・印刷物ヘデータを転載する際には、「新生活準備調査2015（リクルートブライダル総研 調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

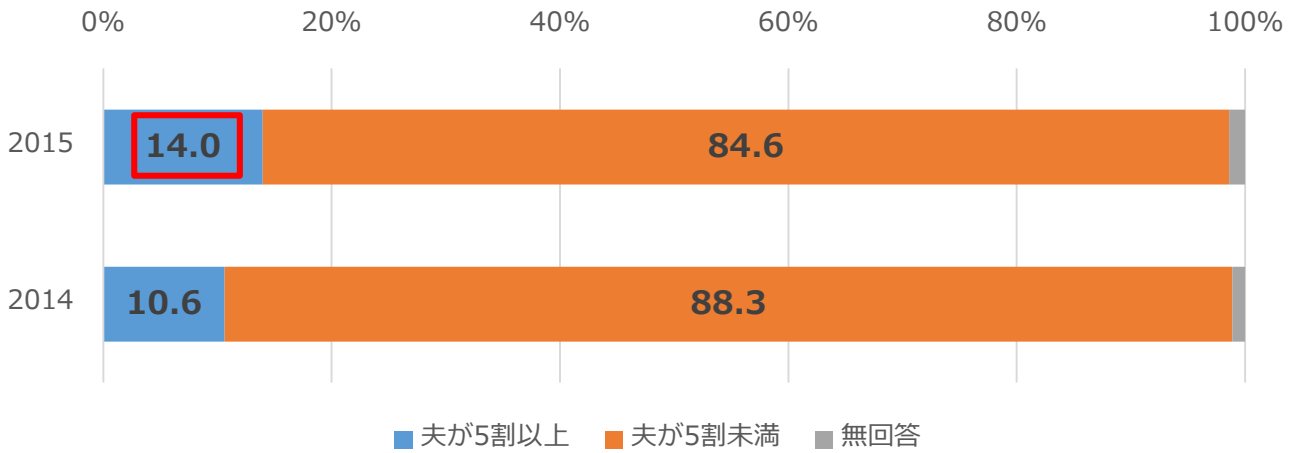
本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

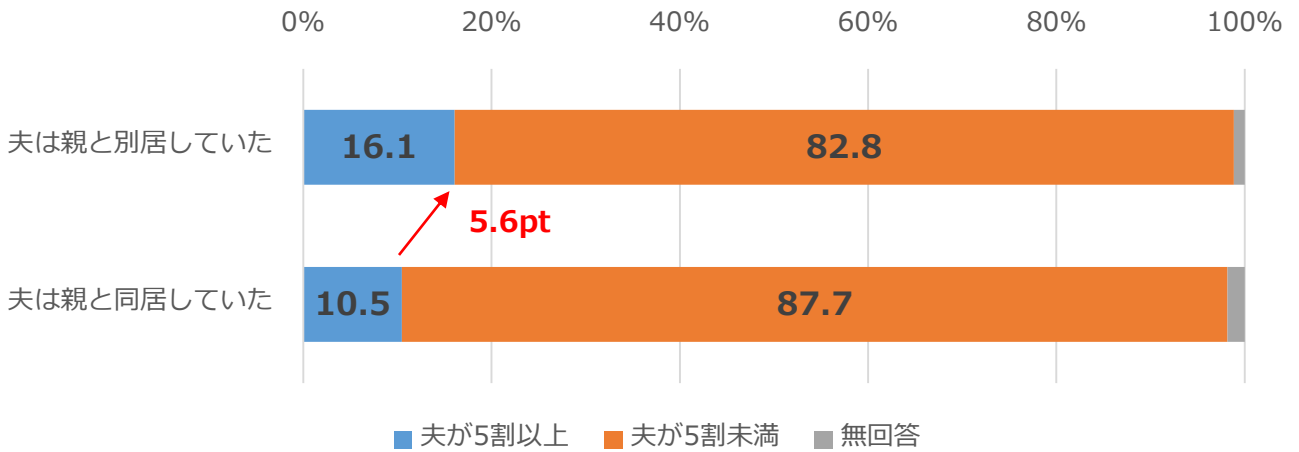
<http://bridal-souken.net/>

ブライダル総研 Research News

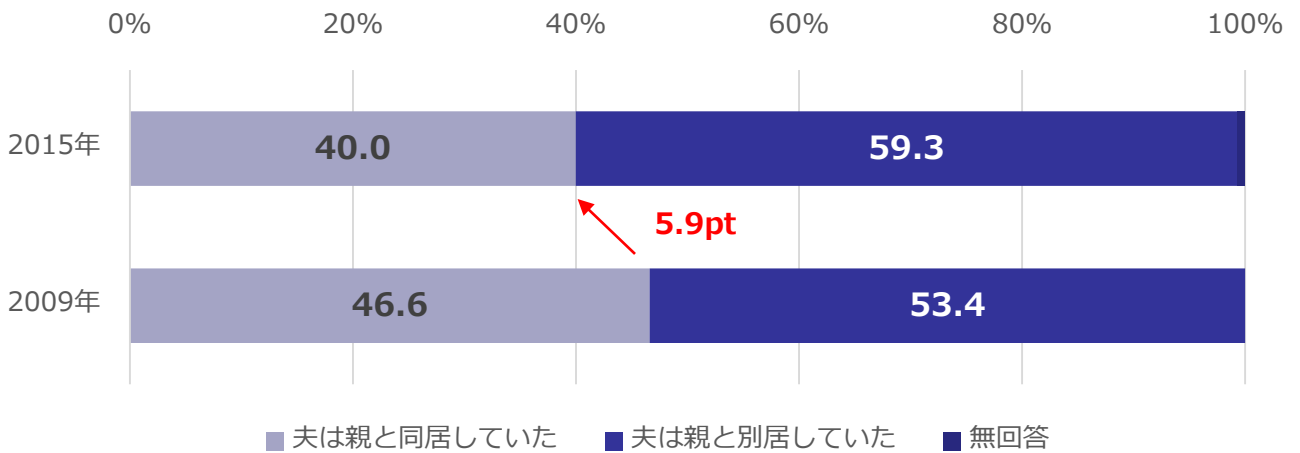
【夫婦の家事分担比率（単一回答）】



【夫の家事分担比率が5割以上である割合（一緒に住む前の親との同居状況別／単一回答）】



【一緒に住む前の親との同居状況（単一回答）】



【調査概要】

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 2015年6月3日～7月9日

【調査対象】 2014年4月～2015年3月に結婚をした首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）の『ゼクシィ』読者、『ゼクシィ（WEBサイト）』会員の中から、地域ごとにランダムサンプリングし調査票を郵送。

調査票への記入は妻に依頼。（各サービス名は2014年度時点のもの）

調査票発送数：1,004件 調査票回収数：472件 回収率：47.0%

【有効サンプル数】

計411人〔首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）：220人、東海（愛知・岐阜・三重）：64人、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）：127人〕

【集計対象】 新生活を始めるにあたってインテリア・家具または家電製品を最低1つでも購入した『ゼクシィ』読者、『ゼクシィ（WEBサイト）』会員。

【集計方法】 <全体集計> 各地域の婚姻件数（平成25年厚生労働省人口動態調査）に合わせてウエイトバック集計を行い、首都圏・東海・関西地域それぞれの婚姻件数に応じた全体平均（推計値）を算出
各地域の婚姻件数合計は373,522組

【注意点】 図表の構成比（%）は百分率で表示してあります。百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第二位を四捨五入して表示してあります。